

1 月 14 日 : VN 指数は軟調に推移 (VN-Index -0.53%)

- 昨日の引けにかけた上昇とは対照的に、VN 指数は下落して取引を開始した。
- 来週予定されるトランプ氏の就任やベトナム企業の決算シーズン到来を前に、低調な取引量のなか慎重な値動きとなった。
- 積極的な買い手は一日を通して現れず、指数は下落幅を徐々に広げて推移した。
- セクター別では、保険や石油ガスが支えとなった一方、メディアや情報技術が足を引っ張った。
- 112 銘柄が上昇、268 銘柄が下落、76 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大きく低下し、29.7%減の 8.5 兆ドンとなった。

VN30 指数は市場全体の重しに (VN-30 -0.70%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、7 銘柄が上昇、20 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずであった。
- 特に、VRE (-3.59%) が足を引っ張り、他にも HDB (-2.53%) や MSN (-2.00%) の下落幅も大きかった。
- 一方、BVH (+2.63%) と PLX (+2.19%) は 2%超上昇し、指数を支えた。

セクター・個別株の動き

- BWE (0.00%) は、2025 年 3~4 月における年次株主総会の開催予定と 2024 年分の配当計画を承認した。金額は 1 株当たり 1,300 ドンで、支払予定日は 2025 年 6 月 24 日、総額約 3,000 億ドンが費やされる予定。
- 日本の小売大手イオンは 2024 年 3 月~11 月において、ベトナムでの営業利益で 2 兆ドン超を記録し東南アジア最大となった。この報道を嫌気し、競合である VRE (-3.59%) は VN30 指数の中で最も下落した。
- 外国人投資家は 6,300 億ドンを売り越した。売り越しトップは FPT (-1.69%)、買い越しトップは VGC (+3.46%) だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。